



八木 一 議員

佐織地区下水道事業の進捗状況は

質問

第一期事業の整備面積は、佐織地区が95ha、整備率73.8%、佐屋地区が119ha、整備率76.1%。第二期事業は

平成19年から平成25年で、諏訪町、北河田町、南河田町、持中町、小津町の全域と、諸桑町、根高町の一部である。第二期事業までの工事費および、その後の第二期計画は。

上下水道部長

平成22年度末において、市の公共下水道事業費で約56億1千万円、うち国庫補助金約23億5千800万円、県補

助金約3千100万円、市費約32億2千100万円となっているが、他に県の建設事業負担金として約10億9千万円を支払っている。

第三期計画は平成24年度に、日光川下流域域下水道事業変更認可が行われるが、本市も調整結果を踏まえて、平成24年度に変更認可業務を委託する予定。第三期事業期間は、平成24年度から31年3月31日までとなるが、認可拡大の個所及び面積については、今年度末に概要が決まる予定。

質問

受益者負担金は、個人の専用住宅の土地に限り、上限25万円が適用となるが、営業用、工場、事業所の土地には適用されない。

現在までの該当件数は。最高金額は。また佐織地区の接続率と件数は。

上下水道部長

平成22年65件。最高金額は、832万900円。平成23年度9件。最高は80万。接続率28.4%、430件である。(平成22年度末)

質問

藤浪地区諏訪町は、平成26年末までの事業期間であるが、供用開始は27年度中か。

上下水道部長

あくまで予定であるが、27年度を予定している。

質問

下水道事業は公益事業、社会資本整備として必要である。市の負担割合は。県の補助は。

上下水道部長

今年度の割り当ては4億7千690万円で、要望額の67%。本市は事業費の100%が対象

だが50%が交付金として交付される。県補助は対象外の10%を上限として交付される。

勝幡駅前広場のモニュメントとは

質問

勝幡駅前整備事業の状況は。

質問

広場にどんなモニュメントを作るのか。

建設部長

平成24年度工事は、駅前、地下道の横断道、トイレ、あすまや、モニュメント、シエルトターの工事予定。25年度は、南側の交通広場、駅舎の工事などで、25年度完成予定。

建設部長

織田信長生誕の地ということで、幼少期の吉法師をイメージしたモニュメントを建設する予定。



新清洲駅前のモニュメント